



ノーテレビ・ノー携帯デーの取り組みから見える橋北中生

スマホと学力の関係

上手に活用するには？



遅くなりましたが、10月に実施した「ノーテレビ・ノー携帯デー」の取り組みの報告をします。

1. テレビを見る・ゲームをする時間

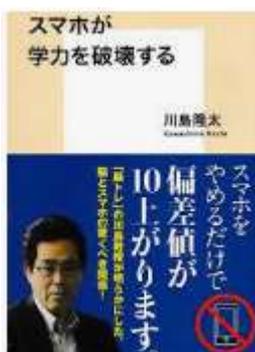
1・2年生は、1時間未満の人と3時間以上の人に大きく分かれました。3年生は、ほとんどの人が1時間未満で、ゲームやテレビに依存していないことがわかりました。

2. 読書をする

期間中、家で読書を全くしなかった人は10名足らずで、予想よりも読書に取り組んでいる姿がうかがえました。本好きの私としては、とてもうれしい結果となりました。手元にスマホは置いていても、本は置いていないことの方が多いと思います。これについても、「決められた部屋でしかスマホは使えない。」といったルールを決めている家庭が多くありました。

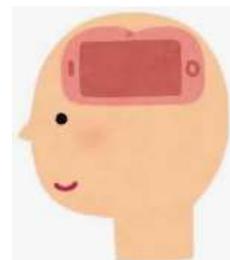
3. 学習する時間

1・2年生は、平日1時間、休日2時間という人が最も多かったです。3年生になると、平日2時間の人と3時間の人の方が半分半分かくらい。これより長い人、短い人はほとんどいませんでした。学習を時間という量で測ることがいいかどうかはわかりませんが、少なくとも、1日の中で「学習」という行動に、どれだけ時間をかけているかがわかりました。



「スマホと学力」の関係は、脳のしくみ的には結論が出ていないようですが、統計的には、はっきりと結果が出ています。東北大学川嶋教授（DSの脳トレを開発した人）の調査によると、スマホの使用時間と全国学力・学習状況調査の結果には明らかに関係があり、ゲームやSNSを長時間やっている人（Aさん）と、やっていないけれど勉強時間も短い人（Bさん）を比較した時、Bさんの方が勉強したことを確実に理解しているという結果が出たようです。

脳は強い刺激ほど記憶に残します。「ゲームも勉強も両方やりたい！」と思う人は、ゲームに負けないくらいの強い刺激で勉強するしかありません。そう考えると、スマホとの付き合いも「ほどほど」にした方がよさそうです。「私は、いつでもスマホを辞められるよ。」という人はいいのですが、すでに「ゲーム脳」「スマホ脳」になってしまっていて、簡単には生活を変えられない人はいませんか？



ちなみにパソコンやスマホの使い方を外国（OECD諸国）と比較したデータがあります。

図 73 (1) 1人用ゲームで遊ぶ



図 47 (11) コンピュータを使って学習ソフトや学習サイトを利用する



上のグラフのように、『パソコンやスマホをゲームに使用する』のは日本がトップです。反対に『学習ソフトや学習サイトを利用する』のは、大きく離されて最下位になっています。この結果について、皆さんはどう思われますか？

■□■ 学校指定物品の価格の見直しについて ■□■□

橋北中には、学校指定物品がいくつかあります。制服、体操服、体育館シューズなどが主なものです。広くは、デザインセットやリコーダー、問題集などもこれにあたるでしょう。これらは、ご家庭で自由に選べないため、学校がそれぞれの業者と価格の交渉をしています。

本校は生徒数が少ないため販売数も少なく、業者の方も単価を上げたいところでしょうが、努力をいただいている様子です。現在のところ、市内の中学校の平均価格を下回っています。

制服：材料費の高騰により来年度の販売から値上げをする業者があります。昨年度に値上げをしたので、今年度は変わらない業者もあります。

体操服：素材、使いやすさを加味して他の製品の導入を検討しましたが、総合的に判断して、現状のままとします。

体育館シューズ：現在のものは製造停止となります。今の製品がなくなり次第、現在のものと同様と同じ製品に代わります。価格も変わりません。

今後も適正な価格となるよう、業者と協議を続けていきます。

なお、協議の詳細については、PTA 本部役員会、コミュニティスクール委員会で共有しています。